

## 使ってみよう、やさしい日本語

～地域に暮らす多様な人と、気持ちのよいコミュニケーションを～

最近、「やさしい日本語」という言葉を聞く機会が増えてきました。地域日本語教育推進モデル地域の磯子区と連携して「やさしい日本語」を学ぶ講座を実施しました。地域に暮らす外国の方と話してみたい方、日本語ボランティア活動に関心がある方が参加しました。

\* \* \* \*

講座では、「やさしい日本語」が生まれた歴史や背景について、また、外国の方と交流する際に「やさしい日本語」が役に立つ理由と具体的な方法を、豊富な実例をもとに学びました。単なる言い回しや翻訳の工夫をすればそれで十分ということではなく、伝わりやすさへの配慮が基盤にあること、それが、最も重要な最初の一步であることが分かりました。

参加した皆さんは、積極的にペアワークを行ったり、一緒に参加した地域日本語教室のボランティアの方たちに活動について質問をするなどしていました。

講座修了時に、今日の講座で印象に残ったことを一言で書きました。「あいまいに感じたことがクリアになりました。納得できました。」「コミュニケーションの大切さを感じました」「伝わりやすさのヒントをたくさん頂けました！」などたくさんの感想と「実践の機会が欲しい」との声がありました。

2回目の講座は、まん延防止等重点措置の適用に伴い中止となりましたが、アンケートからは「ぜひ、近いうちに2回目の講座も実施して欲しい」との声がありました。



講座の様子

テーマ

やさしい日本語をしよう！

講師

坂内泰子さん：一般財団法人自治体国際化協会  
地域国際化推進アドバイザー

日時

2022年1月18日（火）13:30-15:30

場所

横浜市社会教育コーナー

参加者数

14人

参加者の声

- 「やさしい日本語」とはどういう伝え方をすべきなのかを確認できました。実用的な問題に取り組む時間があった点が良かったです。
- 普段日常的に使っている日本語が外国人にとって分かりにくい言葉がかなりあることという事を具体的に知ることができました。
- 分かりやすい文章とは、短文で単文、敬語なし、結論が最初。

対象

- ・ ボランティアに興味があり、磯子区で活動してみたい方
- ・ 2020年度磯子区日本語ボランティア入門講座受講者
- ・ 磯子区内の日本語ボランティア教室で活動しているボランティア



よこはま日本語学習支援センター

Yokohama NIHONGO Support Center

<https://yokohama-nihongo.com>

運営：公益財団法人 横浜市国際交流協会 (YOKE)

地域日本語教育に関わる方や関心のある方  
日本語学習をしたい方

「知りたい・やってみたい・つながりたい」  
をサポートします！

